

2012/1/19 Ver.

東日本大震災復興支援

いいね！事例集



×



Japan Civil Network



日本財団

The Nippon Foundation

「東日本大震災復興支援事例集」作成について

2011年12月

提案 「震つな×ROAD プロジェクト」 & 東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）

背景

震災がつなぐ全国ネットワーク（震つな）は、東日本大震災の被災地支援を日本財団 ROAD プロジェクトの一部として、被災各地で主に足湯の活動を行ってきました（震つな×ROAD）。阪神淡路大震災以降、「一人ひとりに寄り添う」という姿勢を貫いてきている震つな×ROAD プロジェクトやそこに関わった足湯ボランティアらによって、仮設住宅をはじめとした被災地での“いのち”や“暮らし”を脅かす様々な課題や諸問題と、それを乗り越える解決策が多く集められています。

また、東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）は、さまざまなセクターと連携する中で、これまで情報共有により「物」や「人」を補い合う活動、省庁との連絡会議や現地会議などを通して支援者間の連携を深めるための活動を進めてまいりました。連携や情報といったものには様々なかたちがありますが、JCN では今後このような事例の融通により、「智慧の過不足を補いたい」と考えました。

そこで、この度、震つな×ROAD プロジェクトと東日本大震災支援ネットワーク（JCN）が協力し、皆さまの活動を事例集としてまとめたいと考えました。今後はより多くの方々のご取り組みも紹介し、皆さんと情報共有していきたいと考えています。まだ始めて間もない取り組みです。ぜひともご意見・ご感想をお待ちしております。

目的

- 「もうボランティアの支援は不要なのではないか…」
- 「仮設に関わっているが、次々と課題が出てきて何をすればいいのかわからない…」
- 「避難されている方と雇用を創っていきたいが、参考になる取り組みなどはないだろう…」
- 「同じようなことで悩んでいる支援者は多いはず。でもどこに…」

この事例集は、他の地域や団体の支援のアイデアや取り組みを知ることで、この様な個々が抱える支援の悩みや課題の解決、また新しいプロジェクトを立ち上げる時の参考として、役立てていただくことを狙いとしています。

情報の使い方

本事例集は、実際に支援者が行った活動ではありますが、マニュアルではありません。あくまでも事例集ですので、支援活動を行う皆さんの地域性や支援者側の特性なども踏まえてご活用ください。

用語解説

一応急仮設住宅団地…「仮設」と表記します。

お問い合わせ先

- 震災がつなぐ全国ネットワーク／日本財団 ROAD プロジェクト足湯事務局（担当：頼政ほか）



×



〒107-8404 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団2階

TEL:0120-65-6519(コールセンター:平日9時~18時)

road-ashiyu@ps.nippon-foundation.or.jp

- 東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）事務局（担当：池座・岡坂）



〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1

新大手町ビル 245 JNPOC 気付

TEL :03-3277-3636

<http://www.jpn-civil.net/contact/>

事例情報のご提供は <http://www.kouikinet.jp/jirei/> で受け付けています。

No.1 仮設住宅内の花壇

…やっぱり花があると落ち着くね！

(活動地域)大船渡市・後ノ入仮設住宅
(活動団体)後ノ入仮設住宅自治会／兵庫
県佐用町の企業
(キーワード)花・小規模・畑・井戸

(地域の特徴)震災前からのコミュニティが
残る仮設。市街地からは離れた民有地に建
設。建設地も津波の浸水を受けた地域であ
る。規模としてはおよそ60～70世帯ほど。



▲大船渡市・後ノ入仮設住宅の花壇

仮設住宅の砂利の上に土を盛って花壇を作っています。砂利の上に10cm程度の土を盛りあげてつくります。

ご近所の方も野菜の世話をするためにやってきて、仮設住民の方に話しかけたり、交流が生まれています。水は井戸水を使ってたっぷりあげています。

その他にも近所の畑を借りているところや元々畑を山に持っていたから畑仕事を毎日している、という方がたくさんいて、畑作りが生きがいになっている方がたくさんいます！おすそ分けをする方もいるそうですよ。



活動の目的と経緯 仮設住宅内に花壇や畑を作る事で住民同士の交流を図る狙いがある。昼間やる事が無い住民の方たちが畑仕事をする事で生きがいにつながっていく。仮設住宅の砂利道の上にも土を盛ることで花壇をつくる事が出来る技術があり、佐用町の団体から申し出があったため実現。

課題 花壇を設置する際のコストが高く(1㎡につき1万円)広いスペースを花壇や畑にすることができない。

報告者 震つな×ROADプロジェクト事務局

No.2 木造の机作成

…器用なおヤジに任せなさい！



(活動地域) 気仙沼市・唐桑半島 福祉の里
仮設住宅

(活動団体) 住民の方々

(キーワード) 男性・段差の解消

(地域の特徴) 唐桑半島にある福祉の里という福祉施設の隣に建設された仮設。A・B・Cの3つに分かれていて、それぞれに談話室が設置してあります。約100世帯ほど。



▲おヤジたちの「居場所」の机

仮設住宅の住民の方が自ら工作をして机を作成しています。仮設内外の段差を解消する階段も手作りで作っています。この人の家はとっても素敵な玄関に！

普段はお茶会に来ないおヤジたちもこの机でタバコをふかしながら話をしたり、男の集まる「居場所」の役割を果たすようになっていきます！



▲段差解消の手作り階段

活動の目的と経緯 仮設住宅の住民の方で、器用な方がいらっしゃり、自分の家の玄関や近くの段差解消の階段を自主的に作っています！

報告者 震つな×ROAD プロジェクト事務局



やっぱり自分たちで作るって
楽しいからねー！

おヤジたちの手作り
ってところがポイント
なんだよなあ…！

No.3 屋根裏収納スペース

…コンパネで収納スペース確保！

(活動地域)住田町・中有住仮設

(活動団体)住民の方々／仮住まい邑サポート

(キーワード)男性・収納

(地域の特徴)住田町に建てられた木造の仮設住宅。約70戸ほど建設され、住民の方々は陸前高田から来た方が最も多く、釜石、大船渡などの方も若干入居されています。



▲天井にコンパネで収納スペース



木造仮設の屋根裏を使い収納を確保しています。元大工の方がアイデアを考えて回りの住民の方に教えて回っているらしいですよ！木造なので、改造がしやすくいろんなアイデア次第で使い勝手も良くなりそうです！

もちろん、不便な点もたくさんありますが、地域の方が隣近所で協力しあって解決しています！仮設の玄関の風除室も大工さんの手作りで設置しており、それをモデルにして仮設全体に風除室がつけられるそうです！

活動の目的と経緯 木造仮設住宅の屋根裏のスペースが収納として使えるということに住民の大工さんが気づき、自分の家を改造し始めたのがきっかけでした。

その後、周りの住民の方にもこの大工さんが改造方法を広めていきました。また、集会的なスペースを利用して、仮設住宅の中で使える簡単な棚づくり講習等も行っているそうです。

課題 うまく町などと連携して、費用の面などで補助をしてもらったりできないのか？

2年を想定して仮設が建てられているので、防水加工をしておらず、雨が降ると雨漏りしてしまうこともある。

報告者 震つな×ROAD プロジェクト事務局

No.4 木造ベランダの設置

…こりゃあ簡単、誰でも作れる？

(活動地域)大船渡市／大槌町など
(活動団体)各仮設住宅の住民の方々／遠野まごころネットのボランティアの方
(キーワード)男性・洗濯・団らん

(地域の特徴)様々な仮設住宅で実施しているボランティアで、住民の方が実際に自分たちで作っているところもあり、一緒に活動をしています。



▲手作りで出来るベランダ！

木材を使って、仮設の窓にベランダを設置するボランティアが人気です！作り方はとっても簡単。費用も4000円くらいとお手頃価格です。最初はお父さんたちも半信半疑で中々集まってくれませんが、作り始めると徐々に人が集まってきて「俺んともお願い！」という声がどんどん出てきます！普段、中々外に出ないお父さんたちも日曜大工は得意な方が多い！

活動の目的と経緯 簡単に作ることが出来るベランダ作りをボランティアの方が知っており、仮設住宅で作って見たら大人気になりました。そこから口コミで広がっていき、様々な仮設住宅にひっぱりだかことなっています。

住民の方（特に男性）が協力をしてくださっており、ボランティアとして手伝ってくれています。

課題 ボランティアが関わらず、住民の方が自分たちだけでこのベランダ作りを回していくにはどうしたらよいか？

報告者 震つな×ROAD プロジェクト事務局

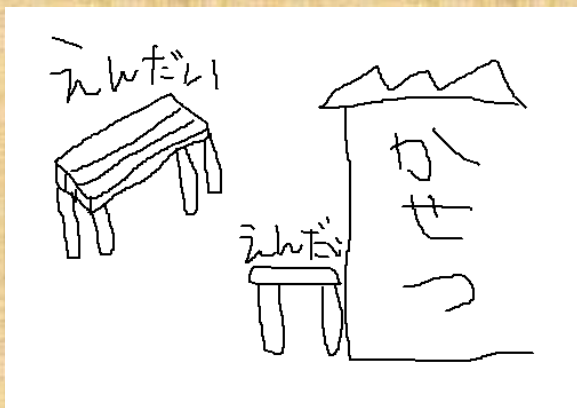
No.5 縁台を設置

…やり方教えるから勝手にやって！



(活動地域)気仙沼市(一ノ関市)など
(活動団体)とちぎボランティアネットワーク
他
(キーワード)男性・洗濯・団らん

(地域の特徴)一ノ関市に建設された気仙沼の仮設住宅。市内からは遠く、中々入居が少なかったという声も。ボランティアも気仙沼市内に比べ少ない状況です。



▲手作り縁台で洗濯物も干しやすい！

ベランダ同様、縁台の設置も人気！でもボランティアだけでは、縁台を作るのに到底追いつきません…そこで、やり方を講習してあとは住民同士でやってもらうという工夫をしています。実はみんな作れちゃうんですね。仮設の住民同士で得意な人が不得意な人の分まで作ってあげたり、協力関係が出来てご近所づきあいにも一役買ってます。

洗濯物もこれで干しやすい！

活動の目的と経緯 仮設住宅は縁台などがなく、洗濯物を干すことも大変という声があり、設置をしています。当初は数が限りがあった、ボランティアが作成していたのですが、設置の要望が非常にたくさんあり、ボランティアでは間に合わなくなりました。そこで、縁台の作り方を教えるので、自分たちで作ってくださいね！ということになりました。

課題 ボランティアだけでは制作が追いつかないので、うまく住民の方が自主的に作れるようになってくれる仕掛けが必要

報告者 震つな×ROAD プロジェクト事務局

No.6 集会所の乾燥機&貸出図書 …乾燥機は東北地方で必需品！

(活動地域)気仙沼市・小原木小学校仮設
(活動団体)小原木小仮設自治会
(キーワード)集会所・洗濯・コミュニティづくり

(地域の特徴)唐桑半島に建設された仮設住宅。戸数は約 50 戸ほど。比較的コミュニティが維持された形で入居されている。談話室は朝 9 時から誰でも使える仕組みに。



▲仮設住宅の談話室（例）

仮設住宅内の談話室に乾燥機が設置してあり、仮設の住民の方はだれでも 1 回 100 円！その 100 円は談話室の備品費などに充てられます。東北地方では洗濯物を普通に干しても凍ってしまって中々乾かないらしいのです。

談話室内にたくさんの図書が置かれています。無料で貸出をしており、仮設内の誰でも読むことができます！

また、こちらでは仮設後にどういった暮らしをするのか、みんなで話し合いをしたりする場を開いています。



活動の目的と経緯 集会所に乾燥機を設置したところ、仮設住宅の住民の方が話し合っ
て一回につき 100 円を使用料にしよう、ということが決められました。

報告者 震つな×ROAD プロジェクト事務局

No.7 近くの廃校を集会所として利用 …気軽によれる木造校舎！

(活動地域)住田町・中有住仮設住宅
(活動団体)中有住仮設住宅自治会／仮住
まい邑サポート
(キーワード)集会所・コミュニティづくり

(地域の特徴)住田町に建てられた木造の
仮設住宅。約70戸ほど建設され、住民の方
は陸前高田から来た方が最も多く、釜石、大
船渡などの方も若干入居されています。



▲廃校の小学校



仮設住宅のすぐ近くの木造校舎を掃除して集会所代わりに使っています！
廃校でとても汚い状態だった校舎を仮設の住民の方がみんなで掃除をして使えるようにしたそうです。

ボランティアのイベントもたくさんありますし、住民の方主催の手芸教室なども積極的に開かれています！

近所の方が畑を貸してくれて、仮設のお母さん方で畑仕事にも精を出しています！



▲さまざまなイベントが行われている

活動の目的と経緯 仮設住宅の近くに廃校があり、自治会と支援に入っている団体が協力して集会所代わりに使おうということとなりました。

最初は学校の掃除から始まり、住民の方が積極的に集まってきれいにしたそうです。そのため、頻繁に住民の方主催の催しが行われているそうです。

報告者 震つな×ROAD プロジェクト事務局

No.8 仮設住宅団地運営支援員 …平日は仮設住宅に常駐！

(活動地域)大船渡市全域

(活動団体)北上市

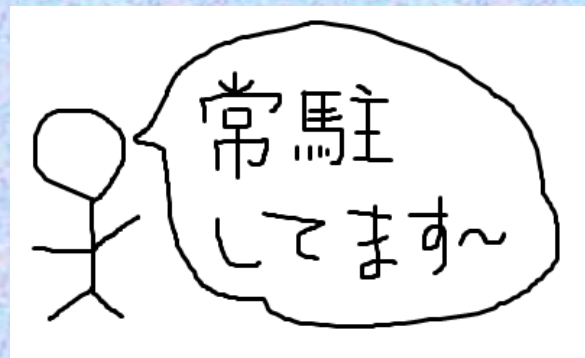
(キーワード)集会所・仮設の管理・コミュニティづくり

(地域の特徴)大船渡市の全仮設住宅を対象とし、各仮設住宅に1人以上が割り振られており、8地区にそれぞれ地区マネージャーが割り振られ、地域の統括をしています。

大船渡市では、仮設住宅団地運営支援員さんという方々がそれぞれの担当の仮設住宅を受け持って活動しています。集会所があるところは、集会所に支援員さんが常駐して鍵の管理や自治会長さんの補佐をしています。

いろいろな細かいところで課題はありますが、仮設住宅に常駐する支援員さんと訪問活動をする生活支援相談員さん(社協)とがうまく連携をすれば、仮設の住民の方々を見逃さない支援体制

を作ることができるのではないか、と思います！



▲平日は集会所に常駐

活動の目的と経緯 仮設住宅の集会所等の管理や自治会の補佐などを目的にしています。ボランティア団体がたくさん入ってきて自治会長の負担が増えるため、代わりに集会所利用のスケジュール管理などを行っています。また、大船渡市で事業を実施していますが、大船渡市の負担を減らすため、北上市が事業主体となっています。北上市が緊急雇用創出事業を使い、北上市の人材派遣会社が委託を受けています。雇用しているのは大船渡の方々が多いそうです。

課題 常駐しているのはいいのですが、逆に支援員さんが常駐しているために集会所が使いづらいということが住民の方の声として上がっています。集会所の中がまるで事務所のようになってしまい、非常に使いづらい雰囲気になってしまっているところも一部ではあります。集会所の管理も支援員さんが行っているため、自由に使えるようではなかったりということもあります。

報告者 震つな×ROAD プロジェクト事務局

No.9 夜のお茶会？

…みんなでワイワイ集まろう！

(活動地域) 気仙沼市など

(活動団体) 仮設住宅自治会

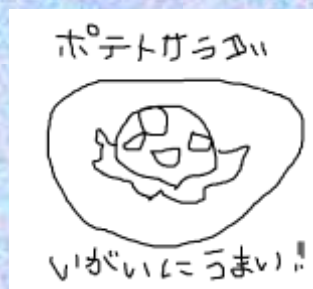
(キーワード) 男性・集会所・夜・まちづくり

(地域の特徴) 仮設住宅の男性が中々外に出ないことが多い。女性は出てきても男性は昼間のイベントには中々出て来れない地域がほとんどです。

夜のお茶会はやっぱりアルコールも有り！料理は持ち寄りです…大体お母さん方が一生懸命作ってくださることが多いみたいですが。父ちゃんたちは大盛り上がり。母ちゃんたちも腕を振って料理をしてくれたそうです！

たまにはこうやって、集会所で集まって宴会をしてもいいんじゃないでしょうか？そのかわり、後片付けが大変ですけれどね！

また、男性対象のお料理教室を仮設住宅の集会所や地域の公民館で行っています。地元のサークルにも協力をしてもらって、男性が料理を作ります！



▲男性向け料理教室も開催！

活動の目的と経緯 仮設住宅で実施するイベントに中々男性が出て来られないため、企画されました。実際には男性だけでなく女性もたくさん来てくださることが多いようで、女性はお互いに料理を持ち寄ったりすることが楽しみだそうです。また、男性の一人暮らしで料理があまりできない方というのもたくさんいらっしゃるの、そういった男性向け料理教室を開いている団体もあります。

課題 工夫しても中々男性が出て来ないことがある。特に一人暮らしの方の見守りをどうやって行っていくか？

報告者 震つな×ROAD プロジェクト事務局

No.10 手芸の日

…みんなでワイワイお昼も持ち寄り！

(活動地域)釜石市・平田仮設

(活動団体)平田仮設の住民の方々

(キーワード)集会所・手芸・生きがいづくり

(地域の特徴)嘉悦住宅がケア付きゾーン、一般ゾーン、子育てゾーンの3つに分かれています。また、中心にサポートセンターが建設され仮設の見守りを行っています。



▲集会所で手芸を楽しむ風景

水曜日は手芸の日にしよう。そんなでもってお昼は談話室のキッチンでみんなで作りましょうよ。そんなアイデアで毎週水曜日に編み物や手芸教室を開いています。

講師は仮設の住民の方が入れ替わりで得意な分野を教えます！

集会所の中の主役は、手芸の上手なお母さんたちだから、ボランティアはちょこっとお邪魔して、手芸を教えてもらうだけ。お昼はお母さんのおいしい手料理までいただけることもあります。とってもおいしい！



いいね!

活動の目的と経緯 仮設住宅の集会所を使ったイベントを行っていた際に、住民の方自らが発案され、毎週水曜日が手芸の日になりました。手芸が得意な人もいれば、編み物が得意な方もいらっしゃるなので、週替わりで先生が入れ替わって住民の方同士で教えあっています。また、お昼ご飯も持ち寄りで、集会所のキッチンを有効活用しています。

課題 行政のイベントと重なった際に、どうしても集会所が使えない場合がある。

報告者 震つな×ROAD プロジェクト事務局

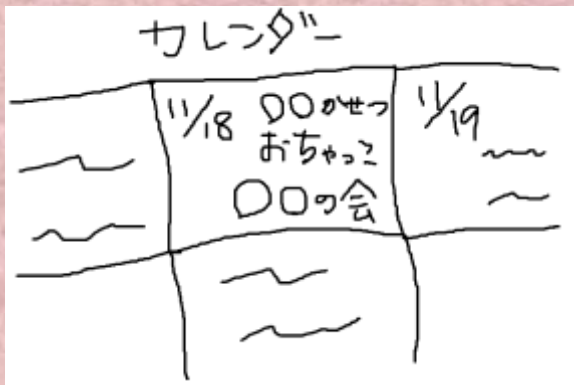
No.11 Google カレンダーで予定を共有 …ひと目で予定が丸わかり

(活動地域)気仙沼市支援団体

(活動団体)気仙沼市 NGO/NPO 連絡会(旧
気仙沼・本吉・唐桑)

(キーワード)支援の偏り・ボランティアの工夫

(地域の特徴)気仙沼市全域で約 30 団体が活動しています。週一回それぞれの地域ごとの連絡会があり、不定期に行政との連絡会も開かれています。



▲Web 上のカレンダーで予定を共有しています。

気仙沼市では、色んな団体が仮設住宅を支援してお茶会や様々なイベントをしているけれど、予定がかぶったりすることがたくさんあるそうです。そこで Google カレンダーを使って予定をみんなが見れるようにしているそうです。

生活支援相談員さんや保健師さんなど、行政の担当課の方々もカレンダーを見てお茶会に参加したり、気になる人を連れてきてくれたりすることもあります。



活動の目的と経緯 気仙沼市では、仮設住宅が約 80 か所建設されています。その仮設住宅でのお茶会やイベント開催の濃淡、支援の格差が出てきていました。そこで、Google カレンダーを使い予定を共有することで、支援の被りを防ぎあるいは、協力して活動しやすい体制を作っています。行政の生活支援相談員さんなどもカレンダーを共有しています。

課題 ボランティアと生活支援相談員や行政との情報共有の仕方について、個人情報も含まれるため、どこまでを共有するのが難しい。また、カレンダーに予定を書き込む作業が追いついていなかったりする場合がある。各地域ごとにパスワードも異なっていたり、事務作業に手がかかる難点をどう解消するか。

報告者 震つな×ROAD プロジェクト事務局

No.12 わざと遅れていく

…そわそわ、準備して待ってたわよ！

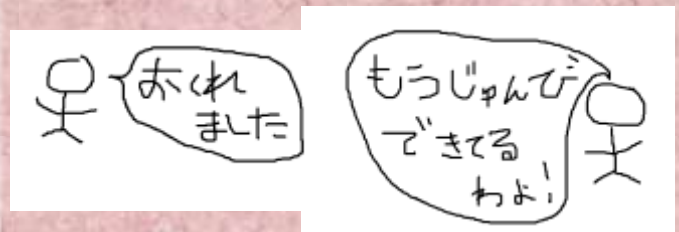


(活動地域)気仙沼市
(活動団体)シャンティ国際ボランティア会
(キーワード)ボランティアの工夫

(地域の特徴)気仙沼市全域で約30団体が活動しています。週一回それぞれの地域ごとの連絡会があり、不定期に行政との連絡会も開かれています。

ボランティアがお茶会を企画してわざと遅刻していくという工夫をしています！遅刻するとせっちなお母さんがそわそわしながら準備をしてくれています。自然と住民の方主体のお茶会が出来る仕掛けづくりです！

ボランティアがすべてやるのではなく、どうやってその土地に住む住民の方の力を引き出していくのか？ということが重要です！仮設住宅の方々同士のつながりを意識していくことが大切であるでしょう。



▲ボランティアが「わざと」遅れる！

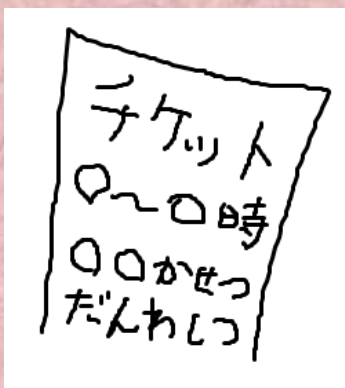
活動の目的と経緯 仮設住宅でのお茶会をボランティアが定期的に行っています。その中で、仮設の住民の方たちに有効に仮設住宅の集会所を使ってもらおう工夫が必要だということもわかってきました。ボランティアがお茶会の準備を全てするのではなく、住民の人に自然とやってもらえるような工夫です。

報告者 震つな×ROAD プロジェクト事務局

No.13 チケット制で冬物配布 …チケットもらったしなあ～

(活動地域)気仙沼市など
(活動団体)仮設住宅自治会・マルイ・各支援団体
(キーワード)コミュニティづくり

(地域の特徴)気仙沼市全域で約30団体が活動しています。週一回それぞれの地域ごとの連絡会があり、不定期に行政との連絡会も開かれています。



▲チケットを事前に配布します

仮設住宅の方々に冬物衣料を配布する際に、チケットを事前に作成し、チケットと交換で衣類を受け取る仕組みの配布会を行っています。同じ時間帯に人

が大量に来るのを防いで分散してきてもらったり、「チケットをもらっちゃったから行くか～」と言って出てきてくれる人もいます。

配布会も買い物形式でやるので、若い世代も来てくれて配布会とほかのイベントをくっつけてやったらもっと相乗効果でたくさんの方が集まってくれるのではないかと期待されています。若い世代と年配の方たちが一緒に集まる機会も仮設の中では少ないので、そういったコミュニティづくりの側面もあります。



活動の目的と経緯 仮設住宅での冬物配布会を開く際に、非常に混雑してしまうためチケットを事前に配布して混雑を避けることが目的です。また、ただ衣類を配布するだけではなく、実際のお店のようにレイアウトし買い物をしているような雰囲気を楽しめる工夫もされています。デパートのマルイが気仙沼の各支援団体と協力して活動して行ったそうです。

課題 衣類の配布と同時に多世代間の交流が出来る仕掛けが出来ないだろうか？また、単に配布するだけでなく低価格の販売にしたいが、仮設の集会所などでは販売は出来ないと言われてしまうことが多い。

報告者 震つな×ROAD プロジェクト事務局

No.14 足湯に一工夫

…その場で渡す「お手紙」チラシ

(活動地域)宮城・岩手・福島の仮設住宅
(活動団体)日本財団 ROAD 足湯隊
(キーワード)コミュニティづくり・足湯・仮設の見守り

(地域の特徴)足湯ボランティアは誰にでも、またどこでもできるのが特徴で、今回は70か所以上の大きささまざまな仮設住宅集会以場で実施しています。



▲クリアファイルにチラシを挟む



足湯の活動やそのあとのお茶のみの時間のなかで「運動していない」、「肩が凝る」などの言葉を聞いたときに、それに対応したチラシをその場でお渡しします。チラシは全てボランティアに持たせず、あえて限られた数をクリアフォルダに入れておくことで、一人ひとりに適したチラシが配られるようにします。



▲チラシの例 (RSY 特設サイトより)

活動の目的と経緯 足湯につかっていただくとはっきりと今抱えている不安や問題をつぶやく方も多いですが、ボランティアがその場で対応することはできずじまいでした。また、様々な場所から情報が集まっていますが、必要な情報が必要な人に配られているとは限りません。

チラシの情報源

首相官邸：手渡し「大切なお知らせ」 <http://www.kantei.go.jp/saigai/osirase/>
レスキューストックヤード「お役立ちツール」 <http://rsy-info.jimdo.com>

報告者 震つな×ROAD プロジェクト事務局

No.15

様々な復興制度を学びあう場づくり

(活動地域)岩手県北上市

(活動団体)NPO法人いわて連携復興センター
一十学会・研究機関

(キーワード)復興、制度、勉強会

(地域の特徴)北上市は「沿岸地域被災者支援プロジェクトチーム」を立ち上げ、沿岸地域の支援を継続実施。北上駅前に「きたかみ震災復興ステーション」開設。

「きたかみ震災復興ステーション」は、避難者・被災者向けには「支援業務をおこなう拠点」、被災地向けには「支援者と被災地を繋ぐ駅」という意味で、JR北上駅前に常設された交流スペースです！



▲きたかみ震災復興ステーションのHP

日本都市計画学会、日本建築学会、日本都市計画家協会、地域公共交通プラットフォーム、弘前大学など、複数の団体

や研究組織等がステーションを活動拠点として位置付け、定期的に復興の制度や計画策定のための勉強会を実施したりしています。

沿岸部の復興計画の策定状況、コミュニティビジネス、国や県の動向などについてゲストスピーカーを招いての勉強会（復興サロン）も実施しています。

きたかみ震災復興ステーションのホームページでは、各地の計画策定に関する情報や制度解説のページなどを紹介しています。

様々なセクター・分野の情報が集約され、ノウハウの共有を目指し、今後も活動を継続していく予定です。

活動の目的と経緯 どの地域でどのような活動をしているかの情報共有は難しく、また、現地からの支援ニーズを共有することも難しい。多くの団体や研究機関が有している情報が共有されていない。

報告者 東日本大震災支援全国ネットワーク(現地会議 in 岩手の話題提供より抽出)

HP <http://kitakamicity.jp/fukkou/>

No.16 買い物代行から きめ細やかな支援につなげる

(活動地域)野田村、宮古市、大槌町

(活動団体) NPO 法人 参画プランニング・いわて

(キーワード)買い物代行、安否確認や孤立・自殺防止、女性の自立

(地域の特徴)

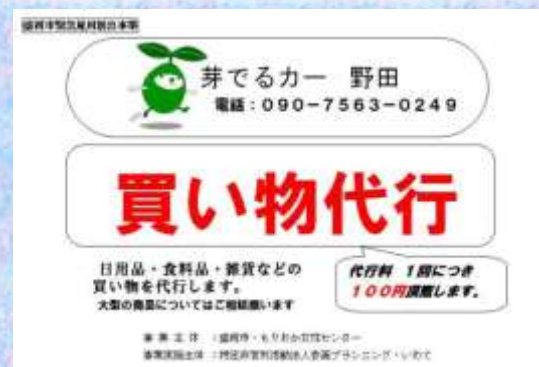
国の緊急雇用創出事業を活用し、岩手県の野田村、宮古市、大槌町の3か所における東日本大震災の被災者(女性)を雇用して被災地域(主に仮設)避難者に対するお買い物代行を行いながら安否確認や自殺予防を目指す「芽でるカー」を展開しています。

日用品、食料品、雑貨など買い物の代金を1回につき100円で実施し、それと同時に安否確認、さらに何を買ったかというリストから栄養バランス等をアドバイスするなど、単に買い物をする以上のきめ細やかな生活全般の支援を展開。被災者を定期的に訪問することで皆様が元気になり、特に高齢者の安否確認や孤立・自殺防止につながることに！

支援するスタッフも被災者であるため、訪問する方々と経験や気持ちを共有

できたり、現地の言葉で円滑なコミュニケーションがとれること！

支援者本人たちも被災者であるため、「芽でるカー」プログラムを通じて、将来、安全安心のお弁当屋さん事業を企画したいと言っている人や、グループホーム事業を立ち上げたいと思っている人、地元で事業展開している企業で勤めたいなど、スタッフ自身が次の雇用を意識して仕事をしています。



▲買い物代行のピラ

活動の目的と経緯 高齢者の安否確認、自殺予防、被災地での雇用創出、女性の自立支援などを実現することを目的としている。

- 本事業は、盛岡市緊急雇用創出事業の委託事業です。
- デリバリーケア地域は、野田村、宮古市、大槌町の3か所。
- 事業期間は、平成23年8月22日～平成24年3月31日(継続可能)。
- スタッフは、現在、上記地域に各3名(女性)、盛岡市1名、計10名が雇用

報告者 東日本大震災支援全国ネットワーク(現地会議 in 岩手の話題提供より抽出)

No.17

「やる気」を創りだす場づくり

(活動地域)陸前高田市

(活動団体)一般社団法人子どものエンパワメントいわて「愛称:E-Pa+Ch(イーパッチ)」

(キーワード)学習支援、大学生

(地域の特徴)

子ども支援の中間支援組織「子どものエンパワメントいわて」では、陸前高田市教育委員会と協働で、「学びの部屋」という事業を展開しています。

「学びの部屋」とは、子どもたちが安心して過ごせる三間(サンマ)を提供する場所です。

◆空間:「学びの場」として安全・安心な教室。

◆時間:平日の放課後を週2回、日曜日は終日、学習時間を確保。

◆仲間…一緒に学ぶ仲間だけでなく、教育現場の経験を持つ学習サポーター、日曜日には若さと元気いっぱいの大学生…心強い仲間がサポートしています。

「学生らが主体」となり学習指導をするなどの活動を展開することがポイント。

そして、4つめの間も。

◆すき間…勉強の合間の休憩時間や、ちょっと教室を出てボ～っとする空間など…

こうした場所で過ごすことで、自分自身の夢を描いたり、進路を考えたり、そのために必要な勉強をしたり。自学自習を基本として、サポートするおとなに見守られながら、広い意味での学習を進めることができます。

学力向上や進学のための入試対策…そうしたことへの「やる気」が、自分自身の夢や将来の姿を描くことにもつながっていきます!

活動の目的と経緯 被災地の児童が主体的に復興のまちづくりに関わり、自分らしい生き方を実現することを願い、夢や希望をあきらめず共に挑戦を続け成長していくこと

報告者 東日本大震災支援全国ネットワーク(現地会議 in 岩手の話題提供より抽出)